※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　理科

教科	理科	科目	（学）標準化学基礎演習 B	単位数	１単位	年次	３年次後期
使用教科書	高等学校　化学基礎（数研出版）						
副教材等	共通テスト対策実力完成直前演習化学基礎（ラーンズ） 共通テスト総合問題集化学基礎（河合出版） 共通テスト実践問題パック Ⅴ 化学基礎（駿台文庫） スクエア最新図説化学（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「化学基礎演習 B」では、大学入学共通テストの問題演習を行うため、弱点分野を復習してから受講すること。特に「物質量の計算」については、十分に復習してから受講することが望ましい。

2　学習の到達目標

・科学や数学における基本的な概念や原理・法則などを系統的に理解し、知識を身につけている。
・自然の事物・現象の中に問題を見いだし探究する過程を通して、事象を科学的、創造的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
・自然の事物・現象や数学的事象に関心をもち、事象を科学的・数学的に考察し表現する態度を身につけている。また、演習課題に 取り組むための力を身につけていく。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・知識の習得や知識の概念的な理解の習得ができているか。 ・分野をまたいだ複合問題への応用力があるか。	・習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。 ・物質に関する原理・法則の基礎を理解し、物質とその変化を微視的にとらえる見方や考え方を養うことができているか。	・各自の不得意分野の補強のために、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期		物質の構成 物質の構成粒子 粒子の結合 物質量と化学反応式 酸と塩基の反応 酸化還元反応	a:基本問題を、時間内に回答する ことができる。 b:問題を正しく読み取り、回答する。 c:弱点を理解し、粘り強く取り組むことができる。	定期考査 小テスト	定期考査	授業プリント 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度